（別紙4（2））

事業所名：グループホーム星のふる里

目標達成計画

作成日：　平成 25　年　9月　18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	排泄時に、廊下から男性トイレを使用する姿が視界に入るので、廊下から見えない程度の、のれんの長さを検討する。	一人ひとりの人格の尊重、誇り・プライバシーの確保をすると共に、創意工夫してプライバシーが保た　れるよう、環境整備していく。	排泄時のプライバシー確保にあたり、トイレ入り口にある、のれんの長さを廊下より中の様子が見えない程度に長さを設定する。	1ヶ月
2	13	・火災、地震、災害時等の対応マニュアルを一つにま　とめる。 ・備蓄の整備。 ・災害時等訓練の地域住民の参加がまだ実施されていない。	・マニュアル（火災・地震・災害時等）の整備をして、職員全員で対応を取り組んでいく。 ・災害時の食料・飲料水等は、常に保管して置く。 ・消防訓練等には隣近所の協力体制が築けるよう、辛抱強く声掛けしていく。	あらゆる災害を想定したマニュアルの見直し作成に取り組んでいく。備蓄については法人でまとめて保管しているので、内容を詳しく調べる。地域、隣近所には広報誌等を配布して訓練等の参加協力をお願いしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。